



がっこう 学校だより



令和5年4月28日
横浜市立三ツ沢小学校

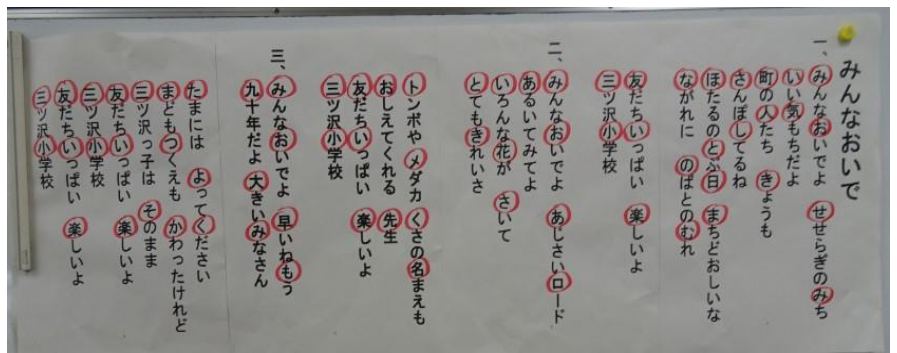
創立90周年、笑顔があふれる三ツ沢小に

校長 高木 伸之

中庭のフジの花が誇らしげに花を咲かせています。先日は、ほたるの放流会もあり、三ツ沢小の季節は春から夏へと確実に移ろうとしています。全児童835名でスタートした令和5年度も早くも1か月が過ぎようとしています。

私は毎日、正門のところで子どもたちの登校を見守りながら挨拶をしていました。私が「おはようございます。」という子どもたちも「おはようございます。」と挨拶を返してくれます。中には疲れているせいか、しっかりと声にならない子どももいます。しかし、日がたつにつれ、笑顔で元気よく、自信をもち「おはようございます。」と挨拶をしてくれる子どもが増えてきました。入学式では少し緊張気味だった1年生の子どもたちも、このごろは表情が和らぎ、私が「おはようございます。」というときと明るい元気のいい大きな声が帰ってくるようになりました。学校に慣れることで、いろいろな活動の楽しさが分かってきたのでしょう。給食をはじめは、かがやき隊の皆様のお手伝いに頼っているところもありましたが、今では自分たちで行うことが出来るようになり、かがやき隊の方からもお褒めの言葉をいただきました。様々なことに協力して取り組むことの楽しさが分かってきたようです。新しい学校生活への自信がもててきているのだなあとその1か月の成長に感心しています。給食を食べているときも笑顔で楽しそうに過ごしていました。

さて、先日、音楽室に行くと、5年生の子どもたちが「みんな おいで」という歌を歌っていました。合唱や合奏もコロナ禍での制限が緩和され、のびのびと気持ちのよい歌声が響いていました。しかも、みんな笑顔でした。この歌は、創立70周年ソングとして、本校の18代PTA会長



の武田信男様が作詞をされ、ミュージシャンの因幡晃様が作曲をされたそうです。その歌が、今日も、子どもたちの大好きな歌として脈々と歌い継がれていることに、大きな驚きと感動を覚えています。しかも、3番の「みんなおいでよ 早いね もう70年だよ」という歌詞が「みんなおいでよ 早いね もう90年だよ」になっているところが、子どもたちの気持ちを90周年につなげていると感じました。

「創立90周年」いう記念すべき年を迎え、三ツ沢小学校の子どもたち、保護者の皆様、地域の方々と共に、学校教育目標の「みとめ合い、つながり合い、ささえ合い、私たちの未来を創ろう 三ツ沢の子」を実現させ、笑顔があふれる三ツ沢小にしていきたいと強く思いました。